

**日本動物遺伝育種学会第8回大会  
開催のお知らせ**

日本動物遺伝育種学会第8回大会を下記の要領で開催いたしますので、多数のご発表・ご参加をお待ちしております。参加申込・発表申込の詳細につきましては学会ホームページ (<http://bre.soc.i.kyoto-u.ac.jp/~jsabg/>) をご覧ください。

**日時：**平成19年11月24日(土)・25日(日)

**会場：**つくば国際会議場(エポカルつくば)中ホール300/中会議室202(茨城県つくば市竹園2丁目20番3号、JR秋葉原駅からつくばエクスプレス快速45分つくば駅下車徒歩10分)

会場ホームページ：<http://www.epochal.or.jp/>

**参加費：**大会参加費

普通会員：前納3,000円 当日4,000円

学生会員：前納2,000円 当日3,000円

非会員：前納4,000円 当日5,000円

懇親会参加費 5,000円(前納のみ)

前納締切：10月23日

**日程：**

**11月24日** 特別講演・教育講演・ポスターセッション・懇親会

特別講演「SNPs to Chips: Changing the paradigm of mapping and selection in cattle」

演者：Dr. Tad S. Sonstegard (USDA, ARS, Bovine Functional Genomics Laboratory)

教育講演「遺伝的多型の統計解析の問題点と対策」

演者：鎌谷直之(東京女子医科大学大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野教授、(独)理化学研究所遺伝子多型研究センター情報解析研究グループディレクター)

**11月25日** シンポジウム(第13回動物遺伝育種シンポジウム)

テーマ：先端的ツールと動物遺伝育種研究の新たな展開：

- 先端的遺伝子関連ツールは動物遺伝育種研究にどのように活用できるか? -

「ヒトゲノムコピー数多型の全容」

演者：石川俊平(東京大学先端科学技術研究センター・ゲノムサイエンス部門助教)

「黒毛和種経済形質のゲノム解析」

演者：高須賀晶子((社)畜産技術協会附属・動物遺伝研究所部長)

「ヒト・マウスのゲノム・トランスクリプトーム解析で同定された内在性アンチセンス転写産物の発現解析」

演者：清澤秀孔((独)理化学研究所バイオリソースセンター開発研究員)

「疾患モデルとしてのメダカ：突然変異体の解析とアレイによるヒレ再生の解析」

演者：工藤 明(東京工業大学大学院生命理工学研究科生命情報専攻教授)

**問合せ先：**〒305-0901 茨城県つくば市池ノ台2

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所 家畜育種増殖研究チーム

日本動物遺伝育種学会第8回大会実行委員会

実行委員長 小松正憲

Tel:029-838-8640/Fax:029-838-8623

e-mail: [mkomatsu@affrc.go.jp](mailto:mkomatsu@affrc.go.jp)